

夢の実現を支援する 「古着deワクチン」

進行性筋ジストロフィーのアーティスト山下重人さん
障がいがあっても描き続けてきた魂の作品を発表

遺伝子の変異により筋肉が徐々に衰えていく「進行性筋ジストロフィー」という病気を抱える山下重人さん（52）。現在は人工呼吸器を付け、かろうじて動く4本の指でペンを動かして、パソコンを使ったコンピューターグラフィックの作品を制作し続けています。そんな山下さんが古着deワクチンスポンサーのもと2025年の9月に仙台市で個展を開催しました。多くの人たちに希望と感動を与えた個展の様子をご紹介します。



個展は文芸春秋「山下重人さんの素晴らしい作品とアーティストとしての姿勢が、多くの人たちの心に響く大きな力となりました」

山下重人さんは幼い頃から画家を夢見て、絵画はもちろん作詞作曲や現代詩にも取り組んできました。病気が進行し、小学校3年生で車椅子生活に。26歳で人工呼吸器を装着し、30歳になると気管切開手術のため声を失いました。現在では4本の指がわずかに動けばかりで、寝たきりの生活を送っています。

それでも山下さんは諦めることはありません。むしろ、「病気は友人」と話します。病気だからこそ小さな幸せを感じることができ、壁を乗り越える経験が制作の強みになっていると言うのです。27歳の時には看護士の良恵さんと結婚。52歳の今でもIT企業に就職して在宅ワークをしたり、京都芸術大学の授業を通信で受けたり、世界を広げています。

今回の個展のタイトルは「使命とは己の命の使い道」。カラルで力強い山下さんの作品を一目見ようと、多くの来場者で溢れました。その中には、15年ぶりとなるお母様との再会や、徳島県から駆けつけた中学時代のお友達、同じ病気を抱えている子どもたちの親などの姿も。「古着 de ワクチン」のお客様もいっしょに、会場は感動の涙で溢れていました。

山下さんの作品が「専用回収キット」に

山下さんの作品は、「古着 de ワクチン」の衣類回収袋のデザインに採用されており、販売個数に応じて著作権料をお支払いすることで山下さんの芸術活動を支援しています。

最新作の作品は「桜青り」。本来絵では伝わらない桜の香りを感ぜてもらえるように匂いを込めて描かれています。



そもそも、古着deワクチンとは？

「古着deワクチン」とは、専用回収キットを購入し、衣類などを詰めて送ることで、5人分のポリオワクチンを寄付することができる日本リユースシステム株式会社が手がける商品です。古着の直営店があるカンボジアでは障がい者やストリートチルドレンだった若者たちが働いていて、雇用創出にも貢献しています。また、専用回収キットの製作は国内の福祉作業所で行われています。

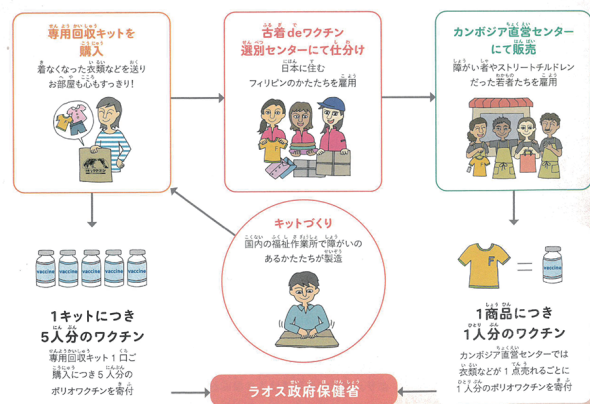
ポリオワクチンはラオス政府保健省を通して子どもたちに寄付されます。これまでに9,305,609人（2025年9月30日現在）にワクチンを寄付してきました。お部屋のお片づけを通して、子どもの命を救い世界中の障がいのある方の自立を支援することができます。



2025年10月にラオスで行われたポリオワクチン接種支援活動の様子です

古着deワクチンのしくみ

着なくなった衣類などで世界の子どもの命を救えます！



これまでの成果

環境事業部が実施、2025年9月30日現在

合計 9,305,609人分
ワクチンを寄付させていただきました

合計 65,723,300着分
衣類を再利用させていただきました

日本リユースシステム株式会社

会社概要：「捨てさせない服」を企業理念に掲げ、リユース業を基盤とした様々なソーシャルビジネスを展開。約30の国や地域と取引を行い、不要になったモノやコトを新しい視点で活かし、必要とされる方々のもとへ届けることを目指している。

Vol.32
2025 / 冬
掲載誌数
全40社（新規4社含む）
発行日
2026年2月28日

「絶対にやり直す」という覚悟のある人と、それを応援する企業のための求人誌

チャンス
Chance!!



インタビュー：AV女優・元グラビアアイドル
小向美奈子さん
特筆：有限会社香取感動マネジメント 代表
香取貴信さん

連載：コラアゲんはいごうまん
Paix / Z李

本社：身元引受可能 & 社宅・寮完備・少年院・刑務所内で面接可能